



2024年5月13日

各位

会社名 株式会社 大真空  
代表者名 代表取締役社長 飯塚 実  
(コード番号 6962 東証プライム市場)  
問合せ先 上級執行役員  
経営企画室長 川島 大空  
TEL (079)426-3211

### 新中期経営計画「第二中期経営計画 基盤確立」策定のお知らせ

当社グループは、2025年3月期をスタートとする新中期経営計画「第二中期経営計画 基盤確立」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

2019年11月に10年長期経営計画「OCEAN+2 戦略」を策定し、2020年4月よりスタートさせました。過当競争による「レッドオーシャン」から脱却し、競争優位性に優れた製品開発をベースに新たな市場でもある「ブルーオーシャン」の開拓と安定的な高利益体質を目指すとともに社会課題の解決に取り組んでいます。この10年長期経営計画は1年+3年+3年+3年のフェーズに分けて考えており、2024年3月期で「第一中期経営計画 基盤整備」までの4年間で終了しました。

第一中期経営計画を振り返りますと、新型コロナウイルスによる混乱があったものの、水晶デバイスの旺盛な需要に加え、品薄感に端を発する価格是正の効果も作用し、1年目には中期経営計画を前倒しする形で過去最高益を達成できました。その後、巣ごもり特需の一巡やエネルギーコストの上昇、半導体不足による稼働低下などが業績に影響を与え、2年目、3年目は減速する形となりました。一方、今後の水晶デバイスマーケットに目を向けますと、半導体の動きに牽引される形で拡大することに疑いの余地はありません。拡大するマーケットへの対応と「OCEAN+2 戦略」による当社オリジナルの取り組みを合わせ、2027年3月期の最終年度に過去最高益（営業利益ベース）を目標とする「第二中期経営計画 基盤確立」が4月よりスタートしました。

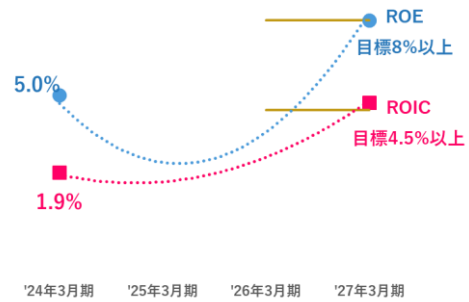
また、東京証券取引所が公表した「資本コストや株価を意識した経営」についての要請も踏まえ、競争優位性により稼ぐ力を高めることをベースとした経営計画を実行し、企業価値向上を目指してまいります。現状の資本コストは8~10%と試算しており、2027年3月期の最終年にはROE：8%以上を目標とすることでPBR：1倍を達成してまいります。

「第二中期経営計画 基盤確立」の概要

目標：2027年3月期過去最高益（営業利益） 「ROE 8%以上／ROIC 4.5%以上」

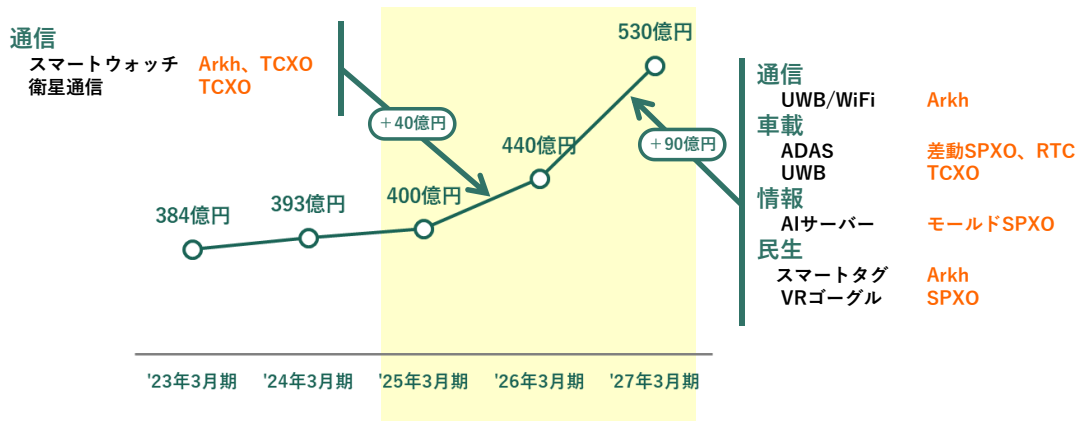
<第二中期 数値計画>

単位:億円	'25年3月期	'26年3月期	'27年3月期
売上高	400	440	530
営業利益	15	32	55
USD想定レート	¥145	¥140	¥135
設備投資（3カ年累計）	150		



<第二中期 販売計画>

水晶発振器市場拡大 と Arkh構想 を軸とした販売計画



※詳細は2024年5月21日開催の決算説明会で説明予定です。

以上